



都内で2番目

練馬区独立78周年となる8月1日に、 区の人口が75万人を超えました

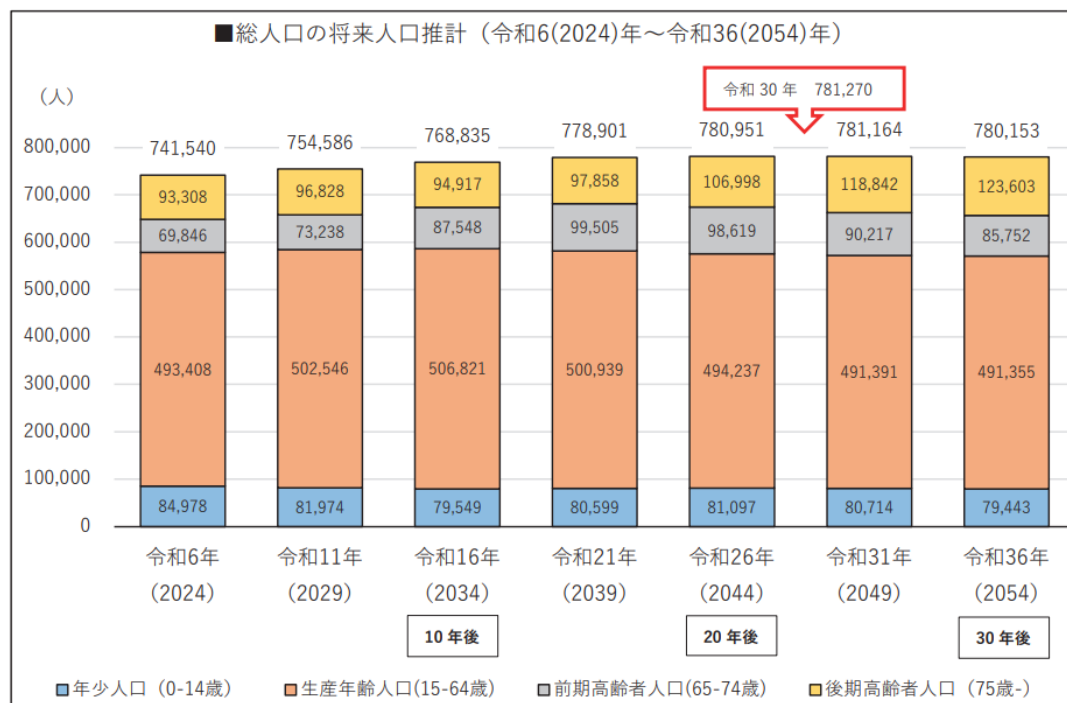
8月1日時点における区の登録人口（住民基本台帳に登録された人口、外国人を含む）が750,022人となり、75万人を超えました。都内では世田谷区に次いで2番目、全国でも上位20位に入る人口規模です。

昭和22年の独立当時、人口11万人の近郊農業地域であった練馬区は、今や人口75万人の大都市へと変貌を遂げました。

【人口の推移】

区の人口は、昭和22年に板橋区から独立した当時は、約11万人でした。人口増加は、昭和30年代前半から40年代半ばにかけての高度経済成長期に著しく、毎年2〜3万人の増加で推移しました。昭和53年から56年に、人口が減少した時期もありましたが、昭和61年には、光が丘地区等の開発に伴い約11,000人増加し、都内でも際立って大きい伸びを示しました。その後も今日まで遡増し続け、平成20年には70万人を突破しました。平成25年に71万人に、平成28年に72万人に、平成30年に73万人に、令和2年に74万人に達しました。

【将来推計人口（出典「第3次みどりの風吹くまちビジョン アクションプラン」より）】



【問い合わせ】 練馬区 戸籍住民課 庶務係 電話03-5984-2791